

2026年2月期
第1四半期
決算補足説明資料

株式会社ハブ 2025年7月14日

業績サマリ累計 P/L (前年同期比較)



(単位：百万円)

	2025年2月期 第1四半期実績 (売上高比)	2026年2月期 第1四半期実績 (売上高比)	前年差 (売上高比差)	前年比
売上高	2,674	2,894	220	108.2%
売上原価	789	853	64	108.1%
原価率	29.5%	29.5%	0P	—
販売費及び一般管理費	1,798	1,874	76	104.2%
営業利益	107 (4.0%)	187 (6.5%)	80 (2.5P)	174.6%
経常利益	101 (3.7%)	181 (6.3%)	80 (2.6P)	179.6%
特別利益	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—
法人税等合計	7	▲11	▲18	—
当期純利益	93 (3.4%)	192 (6.7%)	99 (3.3P)	205.2%

業績サマリ B/S (前年度末比較)



(単位：百万円)

	2025年2月期 期末	2026年2月期 第1四半期末	前期末差	主な要因
資産合計	6,184	6,318	134	
流動資産	3,292	3,342	50	借入金の返済による現金減 — キャッシュレス化進行による売掛金増
固定資産	2,892	2,976	84	— 新規出店による増
負債合計	3,289	3,349	60	
流動負債	1,708	1,851	143	
固定負債	1,581	1,497	▲84	— 長期借入金の返済による減
純資産合計	2,894	2,969	75	配当金支払いによる減 — 当期純利益計上による増
自己資本比率	46.7%	46.8%	0.1P	
有利子負債残高	1,440	1,336	▲104	

月次推移の状況

当第1四半期は、スポーツ放映及びIPコラボレーション企画が好評を博し、業績好調であった。一方、足元6月においては昨年度の営業施策が好調であったことや曜日配列の影響によって、前年客数を下回る結果となった。

【全店実績の対前年比較】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高 (%)	107.6	107.0	109.9	98.8	-	-	105.8
客数 (%)	102.7	101.8	105.0	96.3	-	-	101.5
客単価 (%)	104.8	105.2	104.6	102.5	-	-	104.2
店舗数	107	108	108	108			

【既存店実績の対前年比較】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高 (%)	104.8	104.4	106.6	96.7	-	-	103.1
客数 (%)	100.0	99.2	101.8	94.2	-	-	98.8
客単価 (%)	104.8	105.3	104.8	102.6	-	-	104.3
店舗数	104	105	105	106			

店舗数 2026年2月期 第1四半期末 店舗数 108店舗

2026年2月期 出店数 1店舗

➤ 2025年4月25日 HUB JEF UNITED PUBペリエ千葉エキナカ店



92店舗



15店舗



1店舗

北海道 東北	北海道、宮城県	3店舗 + 球場内売店 1
関東	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県	82店舗 + 球場内売店 1
中部	愛知県、新潟県	5店舗
近畿	京都府、大阪府、兵庫県	15店舗
九州	福岡県	3店舗

■HUB Echigo Beer PUB CoCoLo新潟店

2024年5月オープン



エチゴビール株式会社とのコラボレーション店舗となり、新潟駅の高架下を開業した「CoCoLo新潟」の1階レストランゾーン「エキナンキッチン」への出店

■HUBエキマルシェ大阪ウメスト店

2025年2月オープン



JR大阪駅の西口エリアに開業した商業施設「エキマルシェ大阪ウメスト」への出店

■HUB博多筑紫口デイトスアネックス店

2024年3月オープン



九州の玄関口である博多駅前にあり、福岡県福岡市における3店舗目の出店

Smash47
Station most as HUB

■HUB COCONO SUSUKINO店

2024年1月オープン



多くの飲食店やショップが入居するすすきの駅直結の複合商業施設「COCONO SUSUKINO」への出店

■HUB JEF UNITED PUB ペリエ千葉エキナカ店

2025年4月オープン



初の駅改札内出店。Jリーグチームジェフユナイテッド市原・千葉とのコラボレーション店舗。

■HUB羽田空港第2ターミナル店

2023年9月オープン



羽田空港第2旅客ターミナルビルへの初の空港内出店。東京の空の玄関口をイメージした限定メニューを販売

HUBアミュプラザみやぎ店
2025年9月オープン予定

HUB JEF UNITED PUBペリエ千葉エキナカ店



- 初の駅改札内にある商業施設への出店
- Jリーグチーム ジェフユナイテッド市原・千葉とのコラボレーション店舗

所在地： 千葉県千葉市中央区新千葉1-1-1
ペリエ千葉エキナカ3F
※JR商業施設

席 数： 62席

開店日： 2025年4月25日

2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）



項目	単位	第2四半期（累計）	通期
売上高	百万円	5,700	11,300
営業利益	百万円	290	470
経常利益	百万円	280	450
当期純利益	百万円	260	420
一株当たり利益	円	20.67	33.39



経営理念

英国PUB文化を日本において広く普及させるため
英国風PUBを通じてお客様に感動をあたえる
「感動文化創造事業」を展開する



HUB

參考資料

会社名	株式会社ハブ
設立	1998年5月
事業内容	英国風PUB事業等
資本金	1億円
本社	東京都千代田区外神田3丁目14-10
代表者	太田 剛
事業HP	https://www.pub-hub.com
企業HP	https://www.pub-hub.co.jp

ブランド一覧



証券コード : 3030

発行済株式総数 : 12,830,200株

株主総数 : 12,193名

大株主の状況

株式会社MIXI	20.02%
ロイヤルホールディングス株式会社	14.83%
株式会社久世	8.73%
みのりホールディングス株式会社	6.60%

※2025年2月末時点

参考資料（沿革）

- 1980年3月 (株) ハブ（旧ハブ：(株) ダイエーの100%子会社）設立。ダイエー創業者 中内氏が渡英の際、英国 P U B 文化に感動し、日本で広めたいとの思いからグループ内で事業化。
- 1986年11月 旧ハブを解散し、(株) キャプテンクックに事業継承。
- 1998年5月 (株) ダイエーホールディングコーポレーション（ダイエーグループの持株会社）が全株式を所有する子会社として(株) ハブ（現）を設立。
- 2006年4月 大阪証券取引所「ヘラクレス」に株式上場。
- 2010年2月 ロイヤルホールディングス（株）が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となる。
- 2017年2月 東京証券取引所市場第二部へ市場変更。
- 2017年12月 東京証券取引所市場第一部銘柄指定。
- 2021年3月 ロイヤルホールディングス株式会社が所有する当社一部株式をTech Growth Capital有限責任事業組合に譲渡。
- 2021年4月 第三者割当によりTech Growth Capital有限責任事業組合が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となり、その親会社である株式会社MIXIが当社のその他の関係会社となる。
- 2021年10月 今後の資本政策の柔軟性・機動性の確保と財務内容の健全性の維持を目的として、資本金の額を1億円に減少、資本準備金の額を1億円に減少。
- 2022年4月 東京証券取引所 プライム市場へ移行。
- 2023年10月 東京証券取引所 プライム市場からスタンダード市場へ市場変更。
- 2024年8月 Tech Growth Capital 有限責任事業組合の解散のため、株式会社MIXIが筆頭株主及びその他の関係会社となる。

■名称：創業50年ビジョン（2022-2030）

■目標(ありたい姿)

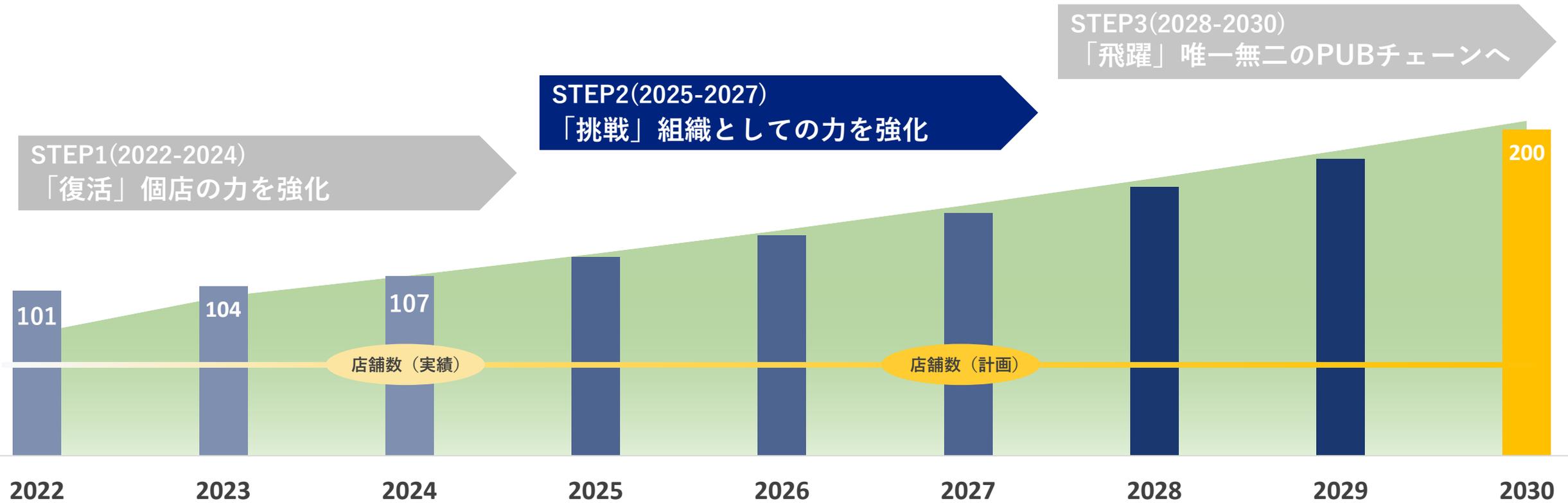
心を豊かにするリアルコミュニケーションの場として
PUBが社会において重要な役割を果たし続けている

- 出店ターゲットを47都道府県に拡大し厳選した200店舗体制を構築する
- 積み重ねてきた価値を磨き続けると共に新たな感動体験を創造する
- 業界の常識を覆す「最高の処遇」と「多様な働き方」を達成する
- 地域に愛される店舗を運営し、持続可能な社会の実現に貢献する
- 企業価値を継続的に高め、魅力的な株主還元を実現する

中期経営計画（2025-2027）の位置づけ

創業50年ビジョン（2022-2030）

心を豊かにするリアルコミュニケーションの場としてPUBが社会において重要な役割を果たし続けている



創業50年ビジョン（2022-2030）

「挑戦」組織としての力を強化



- 出店戦略「Smash47」を軌道に乗せる事を軸に、今後の全国展開を見据えた体制を構築。
- 「客数増」を挑戦のキーワードとして、ターゲットを絞ったマーケティングを実行し顧客とのエンゲージメントをより強固にしていく。
- 処遇改善により、従業員の満足度を向上させ、優秀な人財の確保と定着を組織の活性化に繋げていく。

TRADE ON

矛盾を乗り越え、新たな可能性の扉を開く

本資料の取扱いについて

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ハブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社ハブ 経営企画部 IR担当
TEL：03-3526-8682
<https://www.pub-hub.co.jp/contact/>